

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

12036

ユネスコ活動推進事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	1	生涯学習の推進
取組方針	1	生涯学習の啓発と機会の提供

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	生涯学習振興費		
	大事業	生涯学習振興事業		
中事業	ユネスコ活動推進事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	生涯学習課	田村 匡崇 435-1138
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	和歌山ユネスコ協会の活動の推進を図るとともに、多くの市民にユネスコ精神を広く普及させる。		ユネスコ活動を展開させることによりユネスコ精神の普及に努め、協会組織の強化を図る事業に対して補助を行う。			
事業内容	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	
	各種ユネスコ活動を行うとともに各ユネスコ協会と交流することにより、ユネスコ精神の普及に努めている団体に対して補助を行う。	全国及び近隣のユネスコ協会と交流を図り、国際交流活動により、平和の尊さを説き、会員相互の理解と交流を深め、ユネスコ精神の普及に努める。	全国及び近隣のユネスコ協会と交流を図り、国際交流活動により、平和の尊さを説き、会員相互の理解と交流を深め、ユネスコ精神の普及に努める。	全国及び近隣のユネスコ協会と交流を図り、国際交流活動により、平和の尊さを説き、会員相互の理解と交流を深め、ユネスコ精神の普及に努める。	全国及び近隣のユネスコ協会と交流を図り、国際交流活動により、平和の尊さを説き、会員相互の理解と交流を深め、ユネスコ精神の普及に努める。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	50	45	52	45	52	45	45	0	45	0
伸び率(%)	2%	0%	4%	0%	0%	0%	△13.5%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	388	388	234	234	236	158	0	0	0
	正規職員以外	1,797	1,797	1,349	0	1,381	2,199	0	0	0
	小計	2,185	2,185	1,583	234	1,617	2,357	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	50	45	52	45	52	45	45	0	45	0
所要人数(人)	正規職員	0.05	0.05	0.03	0.03	0.03	0.02	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.35	0.35	0.27	0.00	0.27	0.43	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	ユネスコ運営補助金 45千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
会員数		人	70	70	70	70	70
			70	58	58		
			100%	82.8%	82.8%	%	%
新規会員数		人	10	10	10	5	5
			0	2	0		
			0%	20%	0%	%	%
平和の鐘打鐘会参加者数		人	1300	1300	1300	1300	1300
			320	397	130		
			24.6%	30.5%	10%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	ユネスコ精神の普及に努めるとともに、協会組織の強化を図る。
見直し・改善内容	会員の高齢化が大きな課題である。若年層への加入の呼びかけに努めたい。